全国進路指導研究会

春のセミナー：２０１９　生きる•学ぶ•働く—子ども•青年とともに未来を拓こう！—

■　２０１９年　５月１８日（土）／１３：３０〜１６：３０　開場１３：１５

■　首都大学東京　秋葉原サテライトキャンパス　DE教室

　　JR山手線／総武線：秋葉原駅【電気街口】徒歩１分／ダイビル１２階　※地図参照

若者が社会の作り手と感じられる社会へ！

ーー　スウェーデン社会と若者政策に学ぶ　ーー

　　講演：両角達平さん

●１９８８年生まれ、駒澤大学非常勤講師、文教大学所属生活科学研究所研究員（常勤）、静岡県立大学国際関係学研究科CEGLOS客室研究員、ストックホルム大学教育学部修士。●【社会活動】中高生施設職員交流会TEENS、シティズンシップ教育フォーラム、NPO法人Rights理事、内閣府子ども若者育成支援点検評価会議構成員（２０１１年）、国際シンクタンクYouth Policy Labsオフィスチーム（ベルリン）、YEC（若者エンパワメント委員会）創設・元代表・サポーター（静岡）

　2019年2月２４日、沖縄で「県民投票」が行われました。「辺野古新基地建設（普天間基地移設）」をめぐる賛否を問う、それを求めた若者たちの強い願いが全県（全自治体）実施にこぎつけさせたもの。政府は、その結果を待つこともせず、土砂投入という「実力行使」を続け、盛り上がることを避け（諦めさせ）ようとしましたが、投票率は過半数を超え、７０％を超える人たちが明確に「反対」の意思を表明しました。直前２回の知事選で得た「翁長」「玉城」票を超えています。一方で、有権者比「絶対投票数は１／３」と過小に評価するメディアもありました。この国の「民主主義」が改めて問われています。

　選挙のたびに「若者の政治離れ」が語られます。高齢者層の投票率が比較的高いことから「シルバー民主主義」と揶揄されることもしばしばです。しかし、現在の６０〜７０歳世代は、彼らが２０代の頃から投票率（政治参加）は７０％前後を保っています。仮に、現在の若者世代の投票率３０％台が当然視されるのなら、この国が、民主主義を標榜することができるのかは、甚だ疑問です。「１８歳選挙権（２０１６〜）」が行使され、２０２２年からは「１８歳成人」と法的整備が進みます。長く「大人にしない国」と呼ばれてきたこの国で、「大人になる／大人にする社会」のあり方について議論が求められているようです。

　今日、北欧型の民主主義が、一つの社会モデルと見なされています。若者支援政策でも数歩も前を行く、スウェーデン社会の実態を学び、私たちの「主権者教育」を進め「若者／社会政策」考える機会です。ぜひご参加ください。　　　　　　※「若者が社会の作り手と感じられる社会へ」は、両角さんの活動の原点です。

　　　　　　　　　　　　　　資料代：５００円　／学生無料

主催●全国進路指導研究会　HP <http://zenshinken.jimdo.com/>　　Email zenshinken@hotmail.com